

議案審議

審議の様子は、インターネット中継や会議録検索システムにて御覧いただけます。

1月臨時会では、補正予算1件について審議を行いました。審議の経過について紹介します。

ふるさと納税の受入れ増加、新型コロナウイルスワクチン接種事業費など

議案第1号 令和2年度加西市一般会計補正予算（第12号）について

◆議案の内容

- 【歳入】・衛生費国庫負担金・補助金 3,396万6,000円
新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金・接種体制確保事業補助金の増
・基金費寄附金 20億円
ふるさと納税の受入れの増
【歳出】・一般管理費 11億7,636万6,000円
ふるさと納税推進事業の増
・地域農政推進対策事業費 1,600万円
販売促進緊急支援事業補助金の増

◆質疑

問 ふるさと納税の返礼品の今後の取組について。

答 令和2年度、3年度で実施しているふるさと再発見プログラム調査研究事業では、地域資源の掘り起こしと地域資源を活用した返礼品開発を行う事業者とのマッチングを行います。また、令和2年度に始めた地場産品開発助成事業では、返礼品の開発を行う事業者の費用負担の軽減を図り、新たな返礼品の拡充を進めたいと考えます。

問 新型コロナウイルスワクチン接種について。

答 集団接種会場は、健康福祉会館を予定しています。対象者には、接種券、場所や申込方法などを記載したチラシ等を郵送します。ワクチンの配給が始まってからパソコンやスマートフォン、電話により接種申込みができる体制を整備していきます。接種費用は国庫負担となり、市や個人の費用負担はありません。

問 販売促進緊急支援事業補助金について。

答 加西市内で生産された品目を販売する事業者に対して、その仕入れ価格の2分の1以内で補助を行います。これにより、生産農家は対象品目の出荷量を倍にすることができ、インバウンド需要の減少や輸出の停滞等により生じている在庫の滞留や売上の減少等の改善が図られると見込んでいます。

◆討論

なし

◆議決結果

全会一致で原案可決



意見書案を採択しました

1月臨時会では意見書案1件が提出され、審議の結果、全会一致で採択しました。

意見書案第1号 新型コロナウイルス感染症の長期化に伴う自治体病院に対する更なる支援を求める意見書

要旨

新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えない状況下で、地域医療の最前線に立つ自治体病院は地域住民の生命と健康を守るため、感染症の拡大防止と感染者への対応に全力を挙げている。市立加西病院においても、北播磨圏域で感染症病床を有する唯一の病院として当初から感染症患者を受け入れ、その対応に全力で取り組んでいる。一方、新型コロナウイルス感染症の対応のため、限りある医療資源を集中することで、それ以外の患者の受入れ等に支障が生じ、また受診控え等による大幅な外来患者の減少により、経営に大きな打撃を被っている。事態の長期化に伴い、医療従事者や職員の心身疲弊、更なる経営悪化といった懸念を拭い去ることが出来ない。しかしながら、自治体病院が地域医療の要として感染症対策に取り組むことは地域住民への当然の責務である。よって、国におかれては、コロナ禍における自治体病院の窮状をご賢察いただき、次の事項について取り組まれるよう強く要望する。

- 1 呼吸器内科専門医師の時限的派遣や看護師の応援派遣に関する広域的な調整に対し特段の措置を講じること。
- 2 専用病床の増築や感染予防のための緊急的施設改修等に積極的に対応できる財政支援を行うこと。
- 3 コロナ感染症を受け入れている病院に対する特段の財源措置を講じること。